

## 平成24年度第1回中央区自殺対策協議会 議事（要旨）

---

1 日時 平成24年7月25日（水） 午後7時～午後9時

2 場所 中央区保健所2階大会議室

3 出席者

### 【委員】

松本俊彦(委員長)、小川一夫(副委員長)、岩重佳治、石松伸一、池田真人、栗原正典、穎川一忠、佐藤文則、石井真人、前田宥全、鈴木拓冶(代理)、瀧田哲夫(代理) 草野延彦(代理)、青山勝、松本勝裕(代理)、柳田愼二(代理)、浅沼孝一郎、平林治樹、新治満、和田哲明

### 【事務局】

健康推進課長、予防係長、健康推進主査、他

(主な議題)

- 1 委員長選任
  - 2 副委員長任命
  - 3 中央区における自殺の実態について
- 

### [議事の経過]

1 委員長選任

中央区自殺対策協議会設置要綱に基づき、松本委員が委員長に選任された。

2 副委員長任命

松本委員長より小川委員が副委員長に任命された。

3 中央区における自殺の実態について

事務局より中央区における自殺の実態についての説明があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

(事務局説明)

○平成23年の全国における自殺者数は3万651人で、平成10年から14年連続で3万人を超えている。

○中央区における自殺者数は平成23年31名・平成22年31名・平成21年37名となっている。(警察庁統計)

○自殺率は、平成23年の全国平均23.9と比較すると、中央区は25.92であるため、やや高い傾向にある。

○男女比率は、平成23年の全国平均7:3と比較すると、中央区は6.5:3.5であるため、やや女性が高い傾向にある。

- 年代別は、全国では40代から60代の働き盛りの世代が多いが、中央区は30代から40代、60代と2つの分布を示す。そのため、若年者の自殺者層の多さが中央区の特徴。
- 職業別は、全国と同様、無職者が多い。ただし、全国での無職者の割合が60%に対し、中央区では30%と少ない。
- 原因動機は、全国と同様、健康問題、経済・生活問題、家庭問題が多い。ただし、全国での健康問題の割合は45%に対し、中央区では25%と少ない。

(委員からの意見)

- 中央区の傾向は、若年者の女性が多い。一般的には、自殺既遂者の男女比は2:1もしくは3:1であるが、中央区は1:1である。
- 若年者の女性の場合には、未遂歴のある方が多いので、全国と比較すると、未遂者の割合が高い。
- 平成21年から平成24年6月末までに、救急外来に受診された患者の中で、自殺未遂等の対象になった方は、640名。
- 自殺の実態を判明させるには、全数統計・既遂者の剖検・未遂者のデータ等、複数を重ねて初めて推測することが出来る。
- 未遂者から聞くことは、良いアイデアである。
- 自死遺族の分かち合いの会や遺族及び未遂者から自死に関する手紙相談を行うなどの支援をしている。
- 未遂者調査が最終的に既遂を減らすことにつながる。

#### 4 その他

第2回中央区自殺対策協議会は、平成24年2月18日(月)19時より開催されることを決定した。